

令和元年度事業報告書

第1 清掃

1 施設

(1) 船舶

船 名	総 屯 数	主 機 関	速 力	乗 組 員	集 積 能 力	形 式	備 考
清 港 丸	19.0 t	ディーゼル 345 ^{PS} ×2 基	10.0 kt	4 名	20m ³	デイスローター式	名古屋港管理組合から 無償借受
あ ゆ ち	14.0 t	ディーゼル 130 ^{PS} ×2 基	7.0 kt	3 名	12m ³	デイスローター式	
き よ か わ	4.9 t	ディーゼル 112.8 ^{PS} ×1 基	8.5 kt	3 名	3m ³	曳舟兼清掃船	
塵芥運搬船	—	無動力	—	—	30m ³	—	

(2) 土地及び建物

用 途	所 在 地	土地面積	建物面積	備 考
事務所及び船舶基地	港区作倉町 1 番 95 号	984.95 m ²	175.52 m ²	名古屋港管理組合から無償借受
作倉作業基地	港区作倉町 101 番	991.48 m ²		// (含護岸敷)
中川作業所	中川運河南幹線 11 号地以南	159.48 m ²		// (土地)

(3) 起重機

種 別	形 式	設 置 場 所	用 途	備 考
1.0 t	デリッククレーン	中川作業所	塵芥陸揚げ用	名古屋港管理組合から無償借受
2.85 t	ジブクレーン	作倉作業基地	//	//

2 人員

職 名	副 会 長 兼 常 務 理 事	事 務 局 長	事 務 員	班 長	副 班 長	作 業 員	計	備 考
人 数	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名	4 名	9 名	アルバイトを含む

3 作業内容

(1) 区域別形態

清 掃 区 域	使 用 船 舶	作業員数	基 地	搬 出 処 理 作 業	搬 出 先
港 内	清 港 丸	3 名	作倉作業基地	可燃ごみについては、基地（作業所）備付のクレーンと名古屋市から配車するトラック及び 本会借上げトラックで行う。 可燃ごみ以外の産業廃棄物については、収集運搬・処分を産業廃棄物処理業者に委託する。	名古屋市南陽工場 及び 名古屋市五条川工場 並びに 産業廃棄物処理業者が 所有する工場
	あ ゆ ち	3 名			
堀 川	き よ か わ （塵芥運搬船）	3 名	作倉作業基地 ／ 中川作業所		
新 堀 川					
中 川 運 河	き よ か わ （塵芥運搬船）	3 名			

ア 作業予定表に従い、名古屋港内を清掃船「清港丸」及び「あゆち」によって、悪天候と土日祝日を除き毎日巡回清掃を行った。

特に、ガーデンふ頭は名古屋港の表玄関として多数の来港者があるため、春から秋にかけて船溜りを重点的に清掃した。

5月、7月の大雨と愛知県に接近通過した台風（6月末の台風3号、8月の台風15号、10月の台風19号）による大量ゴミに対応した。

イ 作業予定表に従い、堀川、新堀川、中川運河を「きよかわ」で適宜清掃を行った。

中川運河については、全域にわたって必要に応じ清掃を実施し、特に松重ポンプ所及び中川口ポンプ所付近に汚物、塵芥が集結するため月平均4回清掃を行った。

また、中川口通船門の閘室を中心に発生した浮遊死魚の処理を実施した。処理実績は『6ページ（3）浮遊死魚処理』のとおりである。

ウ 主な塵芥の種類は、流木（小）、木片、竹、葦、パレット、発泡スチロール、プラスチック容器、ビニール製品、ガラス瓶、ペットボトル、缶、紙屑、及び家庭廃品類等がある。

(2) 流出油処理

処理件数 0件。

本会に係る令和元年度の流出油処理はなかった。

4 塵芥別処理実績

(1) 清掃区域別処理実績

内 訳 月別		内 港		南 部		西 部		堀 川		新 堀 川		中 川 運 河		計		備 考	
		回数	塵芥(m³)	回数	塵芥(m³)	回数	塵芥(m³)	回数	塵芥(m³)	回数	塵芥(m³)	回数	塵芥(m³)	回数	塵芥(m³)		
平成31年	4	15	21.0	10	18.0	6	3.0	11	5.5	2	1.0	4	4.5	48	53.0		
令和元年	5	19	123.0	1	0.5	4	3.5	10	6.5	2	1.0	4	5.0	40	139.5	死魚	1,700匹
〃	6	18	65.5	6	5.5	5	4.5	10	8.0	2	1.0	4	4.5	45	89.0	死魚	3,500匹
〃	7	23	218.0	6	26.5	3	1.5	10	10.0	2	1.0	4	13.0	48	270.0	死魚	1,000匹
〃	8	20	106.0	5	7.0	1	0.5	8	8.0	1	0.5	4	12.0	39	134.0	死魚	13,500匹
〃	9	17	46.5	10	20.5	4	6.5	10	9.5	2	1.0	3	3.5	46	87.5		
〃	10	22	268.0	8	42.0	3	6.5	8	6.5	2	1.0	3	6.0	46	330.0	死魚	1,000匹
〃	11	16	62.0	13	76.5	1	0.5	10	6.5	2	1.0	3	4.5	45	151.0		
〃	12	14	11.0	9	24.0	4	2.5	13	8.5	1	0.5	3	5.0	44	51.5		
令和2年	1	15	68.0	10	33.5	2	1.0	14	9.5	2	1.0	3	3.5	46	116.5		
〃	2	15	32.0	14	25.5	2	1.0	12	7.0	1	0.5	4	6.0	48	72.0		
〃	3	18	106.0	14	30.5	1	0.5	12	9.5	1	0.5	3	4.5	49	151.5		
計		212	1,127.0	106	310.0	36	31.5	128	95.0	20	10.0	42	72.0	544	1,645.5	死魚	20,700匹

◆ 年度別実績

内訳 年度別	内 港		南 部		西 部		堀 川		新 堀 川		中 川 運 河		計		備 考
	回数	塵芥(m³)	回数	塵芥(m³)	回数	塵芥(m³)	回数	塵芥(m³)	回数	塵芥(m³)	回数	塵芥(m³)	回数	塵芥(m³)	
平成 15	213	795.5	113	806.5	37	62.5	95	271.0	6	10.0	18	74.0	482	2,019.5	死魚 8,640匹
〃 16	254	1,104.5	136	818.5	51	152.0	94	201.5	9	10.0	21	53.0	565	2,339.5	死魚 31,060匹
〃 17	238	616.5	162	410.0	69	120.5	148	213.0	12	8.5	23	44.5	652	1,413.0	死魚 14,121匹
〃 18	289	1,162.5	171	550.0	61	67.5	112	170.0	11	6.0	18	47.0	662	2,003.0	死魚 15,982匹
〃 19	277	658.5	145	465.5	7	8.0	117	132.0	5	2.5	16	31.5	567	1,298.0	死魚 129,580匹
〃 20	269	1,348.0	133	529.5	5	12.0	118	120.0	12	6.5	17	41.0	554	2,057.0	死魚 8,020匹
〃 21	256	1,571.2	123	580.5	21	42.0	129	133.5	21	12.5	23	52.0	573	2,391.7	死魚 265,800匹
〃 22	295	1,285.5	144	443.5	39	77.5	174	196.0	18	12.5	23	62.5	693	2,077.5	死魚 679,350匹
〃 23	268	1,513.5	140	694.5	30	67.5	166	153.5	22	13.5	22	51.0	648	2,493.5	死魚 896,900匹
〃 24	277	1,171.5	160	436.5	15	19.0	166	197.5	23	13.0	24	70.5	665	1,908.0	死魚 56,340匹
〃 25	265	1,564.0	95	349.5	19	15.5	159	186.0	17	9.0	24	58.0	579	2,182.0	死魚 254,600匹
〃 26	227	992.5	75	456.0	12	32.5	166	179.5	16	8.5	28	50.5	524	1,719.5	死魚 61,200匹
〃 27	181	572.5	60	225.5	16	21.0	152	137.5	23	13.6	29	45.0	461	1,015.1	死魚 824,480匹
〃 28	207	1,824.0	67	358.5	15	22.5	140	114.5	19	10.0	20	38.5	468	2,368.0	死魚 992,000匹
〃 29	221	2,353.0	89	365.5	16	17.0	102	98.0	15	8.0	42	83.0	485	2,924.5	死魚 1,384,766匹
〃 30	216	1,008.0	92	310.5	33	34.5	148	117.0	13	7.5	48	82.0	550	1,559.5	死魚 180,000匹
令和 元	212	1,127.0	106	310.0	36	31.5	128	95.0	20	10.0	42	72.0	544	1,645.5	死魚 20,700匹

(2) 河川大清掃

河川大清掃を令和元年10月16日から10月25日まで行った。結果は次のとおりである。

河川大清掃実績

年月日	種別	河 川 名	出 動 人 員 及 び 船 舶			塵 芥	区 間	備 考
			清港会	業 者	船 舶			
元年 10月16日 (水)		堀 川	5人	4人	1隻	0.5 m³	松重橋～尾頭橋	
10月17日 (木)		〃	3人	—	1隻	0.5 m³	尾頭橋～瓶屋橋	
10月18日 (金)		〃	3人	—	1隻	1.0 m³	大瀬子橋～堀川水門	
10月21日 (月)		〃	3人	—	1隻	1.0 m³	巾下橋～松重橋	
10月23日 (水)		〃	3人	—	1隻	0.5 m³	瓶屋橋～大瀬子橋	
10月24日 (木)		新 堀 川	3人	—	1隻	0.5 m³	内田橋～堀止	
10月25日 (金)		中 川 運 河	3人	—	1隻	1.5 m³	中川閘門～堀止	
合 計			23人	4人	7隻	5.5 m³		

(3) 浮遊死魚処理

浮遊死魚を発見後、清掃船を急行させ迅速に処理作業を行った。結果は次のとおりである。

種別 年月日	作業船舶	人員	処 理 量	種 類	作 業 時 間	場 所
元年 5月16日	清 港 丸	2人	200匹	コノシロ	9:30～10:30	中川運河 中川閘室
5月30日	清 港 丸	2人	500匹	コノシロ	9:00～10:00	中川運河 中川閘室
5月31日	きよかわ	3人	200匹	コノシロ	9:30～11:30	中川運河 東海橋～小栗橋
〃	きよかわ	3人	300匹	ハ ゼ	9:30～11:30	中川運河 東海橋～小栗橋
〃	きよかわ	3人	500匹	ハ ゼ	13:00～14:45	中川運河 猿子橋～東海橋
6月3日	清 港 丸	4人	3,000匹	コノシロ	9:00～11:00	中川運河 中川閘室
6月11日	きよかわ	3人	500匹	ボラ(稚魚)	13:00～14:00	堀 川 御陵橋～きらく橋
7月1日	清 港 丸	2人	1,000匹	コノシロ	9:00～11:00	中川運河 中川口
8月8日	清 港 丸	4人	500匹	コノシロ	5:30～7:00	中川運河 中川口
8月13日	清 港 丸	2人	10,000匹	コノシロ	9:00～11:00	中川運河 中川口
8月14日	清 港 丸	4人	3,000匹	コノシロ	10:00～11:00	中川運河 中川口、中川閘室
10月23日	清 港 丸	2人	1,000匹	イ ワ シ	10:15～11:15	名古屋港 潮凧ふ頭～空見ふ頭
合 計		34人	20,700匹		18時間15分	

4 啓発・宣伝

- (1) 名古屋港内の美化と公衆衛生のため、名古屋市の「環境学習ウィーク・トライ&アクション」事業の一環として、「海のそうじ屋さんを見学」と称した清掃作業見学会を開催。

6月5日(水)名古屋市立東築地小学校の3年生2クラス、延べ約70名が作倉作業基地を訪れた。清掃作業の実演や航行船舶の安全及び海洋生物に与える影響について説明を行い、環境に対する意識向上を図った。



▲見学会の様子



▲清掃船による清掃作業の実演

(2) 以下のイベントに参加し、周辺の清掃協力並びに、「港や川をきれいにしましょう」の、横断幕を掲げ啓発活動を行った。

- ・ 6月の海洋環境保全推進月間中及び7月15日(月)ガーデンふ頭で開催された「みなと祭り」開催日の前後、南極観測船ふじ・船だまりに横断幕掲示



(4) 9月14日(土)に久屋大通公園で開催された「環境デーなごや」実行委員会主催の「環境デーなごや2019」に参加し、写真パネルの展示・説明、海・川のゴミに関するクイズと、景品としてエコバッグ、リーフレットを配付し、本会事業の周知を行うとともに、港湾及び河川の美化に対する啓発宣伝活動を行った。



▲エコバッグ



▲リーフレット

- (5) 清港会の「あらまし」及びリーフレットを、各関係機関及び一般市民に配布し、啓発に努めた。
- (6) 本会の各清掃船に「港や川をきれいにしましょう」のプレートを常時取付け、港湾利用者等に港湾美化を呼びかけた。

(7) 恒例の河川大清掃を令和元年10月16日から10月25日まで、名古屋港管理組合、名古屋市及び堀川、新堀川、中川運河沿線の木材業者の協力を得て、名古屋水上交通組合と共催で実施した。また、河川大清掃の初日には、名古屋木材会館にて河川大清掃出発式を行った。

河川大清掃期間中、船に「港や川をきれいにしましょう」の横断幕を掲げ、堀川、新堀川及び中川運河において、港や川の汚染防止を呼びかけた。また、清掃ポスターを沿岸木材業者に配布して宣伝を行った。

河川大清掃出発式終了後、ポート・オブ・ナゴヤ・アミティ・スタッフが市民にリーフレット及びタオル等を配布した。



▲河川大清掃出発式の様子



▲ポート・オブ・ナゴヤ・アミティ・スタッフによる市民に向けた啓発活動

第2 大型漂流物除去等

- 1 令和元年度大型漂流物除去等については、名古屋港管理組合から委託を受け、名古屋港港湾区域内（河川区域内を除く）を悪天候と土日祝日を除き作業船により、ほぼ毎日巡回し航行船舶の障害となる大型漂流物の収集作業を行った。緊急の場合は携帯電話で連絡を取り対応した。

収集した大型漂流物のうち、流木は、新宝ふ頭に設置してある「アバ」内に集積し、10月9日、3月13日に陸揚げ作業を実施し、10月9日、3月12日、13日に処分を行った。それ以外の大型漂流物については、収集運搬・処分を随時、産業廃棄物処理業者に委託した。

なお、家電については、家電リサイクル法に基づき適切に処理した。

- 2 主な大型漂流物の種類は、丸太、角材、板、沈廃船（ボート）、ドラム缶、プロパンボンベ、ビニールシート、タイヤ、冷蔵庫、洗濯機、ベッドマット、ふとん、タンス類、自転車、バイク等である。

- 3 本年度は、沈廃船を産業廃棄物として、3隻処理した。

4 使用船舶

船名	総 吨 数	主 機 関	速 力	作 業 員	備 考
そうかい	7.9トン	ディーゼル320PS×1基	15.7ノット	3名	名古屋港管理組合より無償借受

5 土地

用 途	所 在 地	土 地 面 積	備 考
港内における大型漂流物陸揚げ処理のため	東海市新宝町 25-1	1,390.76 m ²	名古屋港管理組合から無償借受



▲新宝ふ頭 網場（アバ）

6 人員

職 名	副 班 長	事 務 員	作 業 員	計	備 考
人 数	1 名	1 名	2 名	4 名	アルバイトを含む

7 大型漂流物陸揚げ処理及び沈廃船処理実績

地 区 別	新宝ふ頭陸揚げ処理		廃棄物処理 (沈廃船)	備 考
	陸 揚 げ	処 理		
件 数	2 回	3 回	3 隻	

8 収集及び陸揚げ実績

種類 月別		丸 太		角 材		板		船 材	木 工 品	工 業 品	そ の 他	陸揚げ 処理量 (t)
		2m 未満	2m 以上	2m 未満	2m 以上	2m 未満	2m 以上	沈船及び 廃船等	パレット、ベニヤ、木片及び箱等	タイヤ、ドラム、プロハンボンバ等	竹材、ロープ、ビニールシート、菰等	
H31 年	4	5	4	9	0	4	2	0	17	1	21	
R 元年	5	6	10	5	11	1	7	0	43	3	33	
	6	15	12	25	8	6	7	0	38	3	31	
	7	32	34	12	8	2	12	3	160	4	94	
	8	33	11	2	1	3	3	0	29	2	22	
	9	52	28	4	5	6	5	0	80	3	43	
	10	48	57	10	16	4	2	0	182	2	76	5.7
	11	60	57	7	9	1	8	0	218	6	97	
	12	47	15	15	7	10	4	0	31	5	36	
R2 年	1	47	28	17	9	10	5	0	69	3	45	
	2	23	14	8	2	16	3	0	36	3	26	
	3	26	13	11	5	1	4	1	61	2	22	17.52
計		本 394	本 283	本 125	本 81	枚 64	枚 62	隻 4	個 964	個 37	個 546	t 23.22

※ 陸揚げ処理量(t)は、新宝ふ頭に設置してある「アバ」内の大型漂流物を陸揚げし、乾燥後、搬出した処理量